

地域の守り手必要

災害特別委で足立議員

足立敏之参院議員は、29日の参院・災害対策特別委員会で、昨年8月に北海道や東北に甚大な被害をもたらした豪雨災害などを例に、地域建設業の役割の重要性を改めて強調した。地球温暖化に伴う気候変動で、激甚化する自然災害に着実に備えていくための適応策と、事前防災の観点から取り組む防災・減災対策の推進を説いた。写真。



特に災害対応の最前線に立つ建設企業の役割の大きさを指摘。「地域の建設業は、そこに住んで守るといふまさに地域の守り手。この産業が持続的に発展できる環境をつくっていく必要がある」と訴えた。

